

## &lt;さらに考えましょう&gt;

あなたは、わが子が困ったことをした時に、どんな対応をしていますか。

あてはまると思われるものに、○をしましょう。

1	注意をそらす。
2	取り合わない。
3	気持ちが静まるように、抱きしめる。
4	気持ちを聞いてみる。
5	少しでもできたらほめる。
6	納得するまで話して聞かせる。
7	自分のしていることがどういう結果になるかわからせる。
8	良い手本を示す。
9	何が原因なのかを親自身が考えてみる。
10	ルールをつくる。
11	まわりの環境を工夫する。
12	その他

\*これらは様々な対応の一部で、対応の全てではありません。



## &lt;学習を振り返りましょう&gt;

自分のなかで、わかったこと、考えが変わったことがあれば、書いてみましょう。

お問合せ：〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47 広島県立生涯学習センター  
TEL：082-248-8848 FAX：082-248-8840 E-mail：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

# 暑って、話して、自ら気づく

「親の力」をまなびあう学習プログラム

「過ぎてしまえば一番幸せ」期（子育て前期）  
「クタクタでもワッハッハ」編  
（3～6歳児の親を対象としたプログラム） その1

# 買って買って!!!

～さあ困った！ あなたなら？～



イラスト：うじな かずひこ

幼児期は自我の芽生えの時期。自己主張も激しくなり、なんでもかんでも自分がやりたがるようになります。行動範囲も広がり、親は気が抜けません。「危ない！」「またやっちゃったの！」「いいかげんにしなさい！」…追いかけて、怒鳴ってばかりで、気がついたらクタクタになっていませんか？

きちんとしつけはしながらも、ゆっくり、ゆったり、余裕を持って…そんな方法を探してみましょう！！

広島県教育委員会

<エピソードを読みましょう>



夕方、お母さんと3歳のさとし君はスーパーにやってきました。

夕食の準備に取りかかろうと思ったお母さんは、足りない材料があることに気付き、さとし君と一緒に買い物に来たのです。

お母さんは、求める商品が置いてあるコーナーに急いで行きました。



さとし君は、大好きな

キャラクターのおまけが付いたお菓子を見つけ、それを持ってお母さんのところへ行き、「買ってよ〜、買ってよ〜」とねだっています。

<考えましょう>

あなたは、エピソードを読んで何を感じましたか。

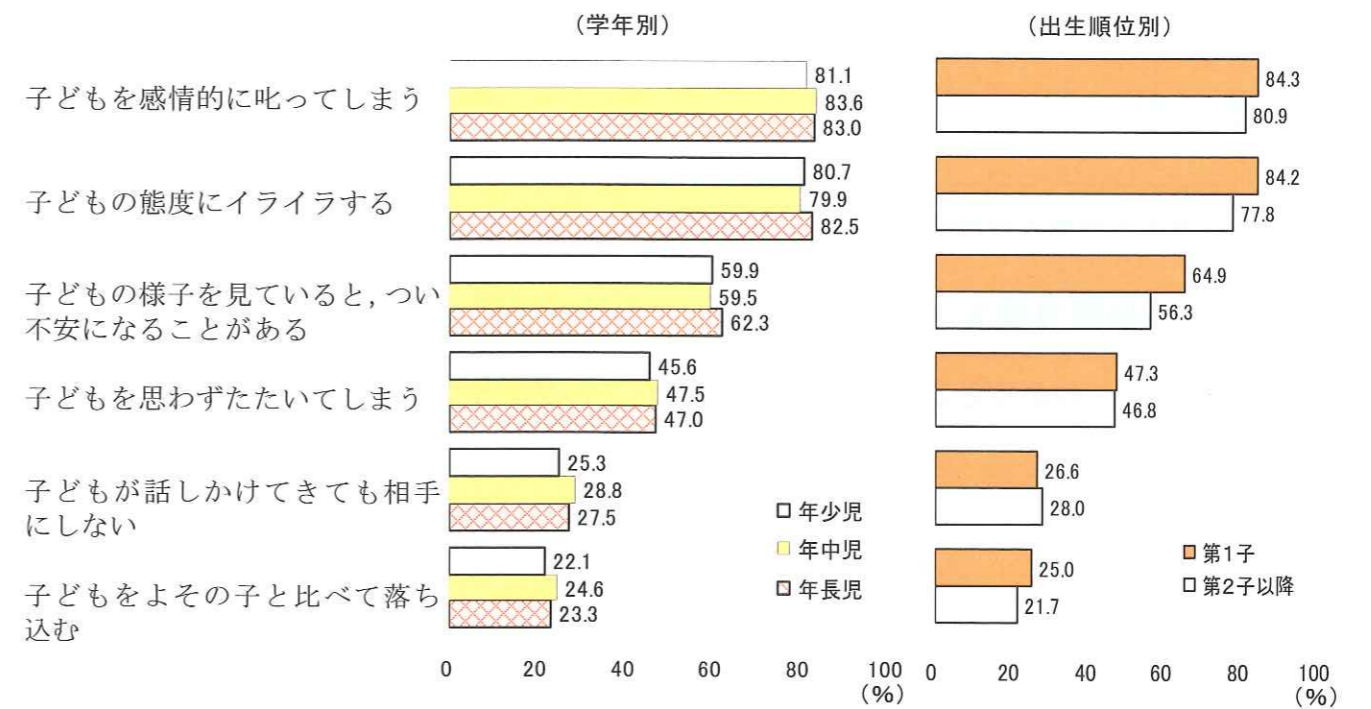
どうしてこのような状況になったと思いますか。

こんなとき、あなたならどのような対応をしますか。

<考えましょう, 出し合ひましょう>

原因：どうしてそうなったの。	対応：どうしたらいいのかな。
例：ねむい	十分に昼寝をさせる

【参考】 「日ごろの生活であること」



(Benesse 教育研究開発センター第3回子育て生活基本調査 幼児版 2009年より)